

<p>次第2 現在の「多摩市における文化芸術振興方針」を読み解く</p>	<p>■事務局より平成21年に策定した「多摩市における文化芸術振興方針」の内容・策定した背景について説明した。</p> <p>① パルテノン多摩は、ニュータウン開発が進んで全国から転入した方と旧来住んでいる方々が、文化を通して交流し新しいコミュニティを作っていこうというのがこの施設の目的だった。文化芸術基本法ができて、多摩市における文化芸術振興方針を作ったわけですが、市として主旨や何を行っていくかというところが、明確になっておらず、行政主導で作ったために市民に全く浸透していない。そのため、何のための施設なのか、どういう役割を果たすのか、どういう機能が必要なのか。だからこの施設は必要なんだということが浸透してこなかった。市民の施設・財産として活用していくという視点からすると、劇場施設としての機能事態が明確になっていない。このような状況のため、市全体の文化施策はここを核として、機能を明確にしながら市としてこういう方向に進んでいこうというところを議論していただきたい。</p> <p>② 基本計画策定時に、文化条例の議論が重要だと提言を受けている。市民・行政に専門家を加え、多摩市独自の文化について話し合うことから始め、文化活動・施設の意義や「文化の必要性」について議論し共通認識を持つことが重要であり、多摩市の文化施策を市民と共有するためのルール作りが必要である。それはパルテノン多摩を使いこなしていく根拠となり、合わせて市民の皆さんが文化活動していく場に専門家を置きながら進めていく根拠になる。</p> <p>③ パルテノン多摩の役割・機能として、多摩市文化振興財団が運営する根拠となる多摩市立複合施設条例がある。ただし、この条例は、どういうための施設かという目的は書いてあるが、具体的にどういう役割を持って、どういう事業を行っていくのかということが書いていない。そのため、多摩市全体の文化振興としてどうやって進めていくのか、目標や手段・考え方というのを設置条例とは別に条例や方針を作る必要がある。第5次多摩総合計画の基本構想では「みんなが笑顔に賑わう街多摩」としており、文化の継承と創造としてどういうところを取り組んでいくのかという文化施策の方向性・方針は書いてあるが、そこから先のものをもう少し整理していきたいというのが文化振興方針である。</p> <p>④ 多摩市文化振興財団の役割として、文化施策を中心に担っているが、改修に向けて、今までどおりでいいというわけでもなく、パルテノン多摩がリニューアルということもあり、活動の方向性など、様々な議論を市と財団で行っている。財団はパルテノン多摩の指定管理者になっているが、基本的な機能も合わせて見直していく。</p> <p>⑤ 文化芸術振興方針は平成21年度に策定したが、中々浸透してこなかった。劇場法が出来たこともあり、施設の具体的な役割が法律化されたということ踏まえて市民の皆さんとこの施設を使い倒しながら、多摩市全体の文化振興を進めていくためにどういうルールにするかということ是非みなさんからご意見をいただければと思う。</p>	<p>事務局</p>
--	--	------------

<p>次第3 「文化芸術振興」という活動や施策、市が条例・方針を定める意義</p>	<p>■ 会長より次第1・2の内容を聞いて、現在持っている意見を委員の皆さんに言ってもらうように提案した。</p> <p>① 多摩市民がパルテノン多摩の存在意義が理解出来ていなかったり、必要性が認識出来ていないのではないかと。クラシックで言えば、プロの方が来て演奏を行う機会を増やすことも良いし市民が関心を持ってきてもらえる環境作りが出来たらいいと思う。</p> <p>② 多摩市文化団体連合は設立50年となる。当初は教室から始まり市民祭がスタートし、現在は約20団体が活動中。文化的コモンズを目指し、フリーで参加出来る仕組みを話している。展覧会で初めて来たという人もいるので、利用者側と一般市民側のニーズを分析する必要もあると思う。位置的に恵まれて駅からのアクセスも商業的にもよく、イベントや公共でやることで活性化するのはないか。</p> <p>③ 文化振興方針はしっかりと作られているが、行政主体で作ったものであり暮らしている私たちへ気持ちとして届いてきてはいない。時代も変わっていくので、物事をどう決めていくかという仕組みや、文化について考えるときは色々な人と話す機会を持って集团的に考える仕組みを盛り込んでもらえれば。</p> <p>④ 文化芸術振興方針はまとまってわかりやすく、議論が発展できる内容になっている。条例であってもアクションプランとしての方針があってもいいのかなと思う。文化的な資源があり、それを網の目のように関係を張り巡らせてそこをパルテノン多摩と結んでみんなが繋がって、文化的コモンズを多摩市オリジナルのものでイメージを膨らませていけるといいのかなと。</p> <p>⑤ 条例は継続性というものは見込めるけど硬直化するなら、柔軟で自由な方向性を作りたい。日本全国へ出て行く子ども達が多摩市という故郷での体験を誇りに思い、自分たちの価値観を表現していくかということを見ると、子ども達をどう育てるかということを中心に置いた、次の世代をどう育てていくかという視点でパルテノン多摩をどう活かしていくかという方向に出来れば。</p> <p>⑥ パルテノン多摩はランドマークで名前も単一的なものだと思う。市民の方が改めてこの場所を誇りだと思えるに磨いていくことと、多摩市やパルテノンという名前が無くても、「これはパルテノンのことだ」と言う様なオリジナリティが重要だと思う。方針・条例は変えるものと変えないものを明確にし、時代と共に市民や行政・専門家が一緒にディスカッションしながら変えていければと思う。</p> <p>⑦ 条例が無くてもしっかりとしたコンセプトはあるべきでは。駅前立地や大型のアミューズメント施設があることが良いと思うが、横軸に連携しているかということ、あまり無いと感じている。この立地なので横のつながりをもう少し出来れば、ハード的解決からソフト的解決につながるのかと思う。鳥瞰的な目でこの多摩センターを見て何が足りないかということとを皆さんと話したい。</p> <p>⑧ 市が条例を作り、財団がそれを実現するために運営・事業方針や計画を作成し、そして運営スタッフが具体的なプログラムを提案し実施していく流れになるが、どんなに素晴らしい条例を作り計画を立てても、創造力のあるスタッフがいないと絵に描いた餅になる。今後、独自のプランを作成し実行力のあるスタッフの発掘と育成が</p>	<p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>副会長</p>
---	---	--

	<p>課題になる。また、これから創る条例などは、大人だけではなく子どもでも読めるものであればいいなと思う。将来の文化芸術のファンになる子供たちが、読んで面白い、納得する・理解できるような書き方も検討してほしい。</p> <p>⑨ 他の自治体例として神奈川県文化振興条例は5年ごとに見直している。大改正は議会もあり大変だが、釧路市など実際に抜本的に改正していて、小さい改正なら比較的簡単に出来る。横浜市は大胆な形で創造都市ということで文化と産業を一体化する政策を10数年前に行った。財団改革や組織を作るなど様々な形で仕組みを造り上げていった市長の決断と現場が施策を作ったという特徴がある。多摩市にはこういう様な文化を用いるんだということをおみなさんともう少し広く様々な形で次回もっと議論できれば。</p>	会長
<p>次第4 本分科会の達成目標を共有する</p>	<p>■ 本分科会の獲得目標を共有し、第2回で主に議論する内容のイメージの確認を行った。次回に向けて、議論が必要な内容や、これは重要だというような意見があるか委員に確認した。</p> <p>① 子ども達がわかるような文章・コンセプトについて、どこからみてもパルテノン多摩だというイメージのため、SDGSのデザインや普遍的な価値観、誰一人取り残さないというやさしくそして強い印象深いメッセージが参考になる。どんな立場の人でも納得し心が動くような言葉が世界に向けてのメッセージにもなり、新しい時代にパルテノン多摩に人格を与えるプロジェクトとなる。</p> <p>② SDGSは17項目だが、会社で介護事業を行っているということもあるが、18番目に「高齢者」を追加している。多摩市では高齢者は外せないと思う。</p>	<p>委員</p> <p>委員</p>
<p>次回について</p>	<p>■ 次回は、8月30日(月) 18:00より 場所は、パルテノン多摩 4階第1会議室で行う。</p>	